



## 全国学力・学習状況調査の結果の概要について

全国の小学6年生を対象に4月18日(木)に行われました 全国学力・学習状況調査につきまして、本校の結果の概要をお知らせいたします。今回の調査結果から課題を明らかにし、今後の学習指導等に生かしていきます。なお、本調査により測定できるのは学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面であることをご留意ください。

### 1. 調査内容

#### (1) 教科に関する調査 (国語・算数)

- ①身に付けておかなければ、後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や実生活において 不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など
  - ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力などに関わる内容や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力など に関わる内容
- 上記①と②を一体的に問うこととする

#### (2) 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

- 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

### 2. 実施日

令和6年 (2024年) 4月18日(木)

全国の平均正答率と比較して、以下の基準でお伝えします。

- |                     |                      |
|---------------------|----------------------|
| ・ +3. 1ポイント以上       | ⇒ 上回っている             |
| ・ +3ポイントの範囲内で全国平均以上 | ⇒ ほぼ同程度であるが、やや上回っている |
| ・ 全国平均と同じ           | ⇒ 同程度                |
| ・ -3ポイントの範囲内で全国平均以下 | ⇒ ほぼ同程度であるが、やや下回っている |
| ・ -3. 1ポイント以下       | ⇒ 下回っている             |

【国語】

本校の概要

【知識及び技能】

- ・「言葉の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱い方に関する事項」において、正答率が全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。
- ・「我が国の言語文化に関する事項」において、正答率が全国平均に比べて下回っている。

【思考力、判断力、表現力等】

- ・「話すこと・聞くこと」において正答率が全国平均に比べて下回っている。
  - ・「書くこと」において、正答率が全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。
  - ・「読むこと」において、正答率が全国平均を上回っている。
- ・いずれの内容においても、記述式の問題における無回答の割合が全国平均より高くなっている。

今回の調査における課題

- 「言葉の特徴や使い方に関する事項」において、学年別配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと。
  - 「情報の扱い方に関する事項」において、情報と情報とを関係づけること。
  - 「我が国の言語文化に関する事項」において、読書が自分の考えを広げることに関わり、役立つと気付くことができること。
- 
- 「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討すること。
  - 「書くこと」において、目的や意図に応じて事実と感想、意見とを区別して書くこと。

改善の方向

- 子どもの興味、関心を高める授業を充実させる。
  - 反復指導により漢字の読み書きの定着を目指す。
  - 様々な情報を関係づけながら、課題解決に向かっていく学習活動を工夫する。
  - 朝読書の時間を中心として読書の意義を伝え、読書活動を推進していく。
- 
- 「三里塚 話す力・聞く力ステップシート」を日常的に活用し、伝え合う力の育成を図る。
  - 日常的に文章を書く際、事実と感想、意見とを区別しながら書く活動を充実させる。
- 
- 記述式の問題の解答の仕方について、教科テストの際に適切な指導を充実させる。

## 【算数】

### 本校の概要

- 【数と計算】において、正答率が全国平均に比べて下回っている。
  - ・特に、文章からの立式、小数の四則計算における正答率が全国平均より下回っている。
- 【図形】において、正答率が全国平均に比べて下回っている。
  - ・立体図形についての正答率は全国平均と同程度であるものの、平面図形の辺の長さや、面積についての正答率が全国平均より下回っている。
- 【変化と関係】において、正答率が全国平均に比べて下回っている。
  - ・特に、道のり、時間、速さの関係についての正答率が全国平均より下回っている。
- 【データの活用】において、正答率が全国平均に比べて下回っている。
  - ・特に、表から必要な情報を読み取り、立式することについての正答率が全国平均より下回っている。
- いずれの領域においても、記述式の問題における無回答の割合が全国平均より高くなっている。

### 今回の調査における課題

- 問題場面の数量関係を捉え、式に表すこと。
- 小数の四則計算について正確に行うこと。
- 円の直径の長さ、円周の長さ、円周率の関係について理解すること。
- 様々な図形の面積を求めるために、立式をすること。
- 速さの意味を理解すると共に、文章中の情報を適切に捉え、道のり、時間、速さを求めること。
- 表やグラフから必要な数値を適切に読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて表現すること。
- 簡単な二次元の表を読み取り、必要なデータを取り出して、落ちや重なりがないよう分類整理すること。

### 改善の方向

- 子どもの興味、関心を高める授業を充実させる。
- 反復指導により、確実な四則計算の定着を図る。
- 長さや角度など図形から必要な情報を適切に読み取る学習活動を充実させる。
- 読み取った情報をもとに適切に立式させる学習活動を充実させる。
- 問題文中から、道のり、時間、速さを読み取り、それぞれを求めるために適切に立式させる学習活動を充実させる。
- 表やグラフを読み取り、その違いや変化について、言葉と数を用いて説明する学習活動の充実。
- 記述式の問題の解答の仕方について、教科テストの際に適切な指導を充実させる。

【生活習慣や学習習慣に関する質問紙調査結果】

◇肯定的な答えが多かった質問事項

(29) 5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか。

(35) 授業で学んだことを次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができていると思いますか。

(40) 学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか。

(61) 英語の勉強は好きですか。

◇(29)について肯定的な回答が多い結果から、人に伝わるように話し方を工夫している様子が伺えます。今後も、様々な場面で自分の考えや思いを伝える機会を設け、話し合いながら課題を解決していく学習を進めてまいります。

◇(35)について肯定的な回答が多い結果から、様々な教科の学習が、他の学習や日常生活に結びついている様子が伺えます。今後も、学習と学習、学習と日常生活とを関連付け、生きた学びにつながる学習活動を工夫してまいります。

◇(40)について肯定的な回答が多い結果から、学級内での話し合いを通して、自分自身の目標や、やるべきことを明確にしている様子が伺えます。今後も様々な教育活動において、子どもたち同士で話し合いながら、目標を設定したり、やるべきことを考えたりする活動を展開してまいります。

◇(61)について肯定的な回答が多い結果から、英語をはじめとした外国の言語や文化について興味をもって学習している様子が伺えます。今後も、専科指導を中心に、英語教育を充実させ、楽しみながら学び続けられる学習活動を工夫してまいります。

◆否定的な答えが多かった質問事項

(11) 将来の夢や目標をもっていますか。

(24) 新聞を読んでいますか。

(50) 算数の勉強は好きですか。

(52) 算数の授業の内容はよくわかりますか。

◆(11)について否定的な回答が多い結果から、将来の姿を思い描けていない様子が伺えます。将来についての目標をもち、そこに向かって努力することも学習の大切な動機付けの一つと考えます。学校では様々な場面でキャリア教育を展開し、子どもたち一人一人が将来の姿に希望をもてるように支援していきます。

◆(24)について否定的な回答が多い結果から、様々な活字に触れる機会が少ない傾向にあることが伺えます。授業以外の読書時間を問う設問についても否定的な回答が、やや多くなっています。学校では活字に触れることの楽しさや大切さについて、子どもたちへ伝えていきます。御家庭でも、様々な活字に触れる機会をもたせていただけたらと思います。

◆(50) (52)について否定的な回答が多い結果や、前述の算数全領域において全国平均より下回っていることから、算数の学習に苦手意識をもっている児童が多くいる傾向が見られます。一方で、「算数の勉強は大切だと思いますか」という設問に対しては、全国平均と同程度の回答割合となっています。算数の勉強の大切さは理解しているものの、学習内容の理解や定着に困難を抱えている様子が伺えます。学校では少人数指導や反復指導により、基礎基本の確実な定着を目指していきます。御家庭でも「うち学」等を通して、お子様の学習の理解の様子を確かめていただけたらと思います。

本調査は、6年生を対象として行われたものですが、その結果は本校の教育全体の成果や課題であると考え、今後の学校教育の改善に役立ててまいります。指導方法の工夫改善や、御家庭や地域と一体となった取り組みによって、子どもたちの確かな成長につなげていきたいと考えております。保護者の皆様、地域の皆様には、今後とも御理解と御協力をお願い申し上げます。